No.135
2013 4

学院だより

〈東京家政学院大学〉

外国語スピーチコンテスト出場の皆さんと
国際交流会メンバーの皆さん

〈筑波学院大学〉

オーストラリア英語研修メンバー

〈東京家政学院大学〉

日本文化学科合同同窓会
初期のころの卒業生との記念写真

〈東京家政学院中学校・高等学校〉

中学如月祭の様子

目　次

○　東京家政学院大学　…… 1 ～ 3P
○　入試日程　…… 4P
○　筑波学院大学　…… 5 ～ 7P
○　学校法人東京家政学院　…… 8P
○　東京家政学院中学校・高等学校…　9 ～ 10P
○　「社会のなかで」、「研究室紹介」　……　11P

発行　学校法人　東京家政学院
〒 102-8341 東京都千代田区三番町 22 番地
Tel.　03-3262-2251（代表）　Fax.　03-3262-2174

東京家政学院大学

TOKYO KASEI - GAKUIN UNIVERSITY

町田キャンパス
〒194-0292　東京都町田市相原町 2600 番地
TEL：042-782-9811（代）
千代田三番町キャンパス
〒102-8341　東京都千代田区三番町 22 番地
TEL：03-3262-2251（代）
URL http://www.kasei-gakuin.ac.jp/

自分の中の可能性を信じ、挑戦することが将来への土台をつくる

東京家政学院大学
学長　天野正子

ご入学おめでとう！　みなさんは今日から「生徒」ではなく、晴れて「学生」です。生徒から学生への挑戦と飛躍――入学式はその節目となるセレモニーです。

生徒と学生の一番大きい違いは何でしょう？「自由と責任」の大きさの違いです。たとえば学校が決めてくれた授業に出席し、先生から与えられた問題を解いていれば、それなりの成績がとれた高校までの学びとは異なり、自分で問題や課題を発見し、一つひとつ調べ、解決方法を考えることが、大学での学びの基本です。

自由度が大きくなる分、学生のあなたはあらゆる面で自らの責任で選択し、自主的に行動していかねばならない。勉強、クラブ活動、バイト、恋愛、社会活動など、ヨコ一列に並んだ営みから自分で考え判断し、優先順位をつけて選んでいく。特別に何をするのでもなく、学生生活を無意味にすごす「自由」もあります。

とまどい、悩み、迷うことがあるかもしれない。つまずきや失敗、挫折があるかもしれません。しかし、そうした経験から意味を汲みとることが、「自分の道は自分が選ぶ」という力量を養い、新しい世界への出会いを用意してくれます。

本学は、今年で創立90周年を迎えます。創立者・大江スミ先生の建学の精神は、現実をとらえる広い「知識」（Knowledge）、他者の立場を思いやる「徳性」（Virtue）、生活課題に取り組む「技術」（Art）を兼ね備えた女性を育てることです。もう一つ、本学が重視しているのは、学士課程の4年間を通して、みなさん一人ひとりとていねいに向き合い、その隠れた能力や関心、意欲を引き出していく、「卒業成長値」を高める教育です。

みなさんそれぞれが、自分のなかの人間としての可能性を信じて、本学の先生の教育力や施設、時間を活用つくし、自分のものにして将来への土台をつくって下さい。

平成25年度学友会　役員挨拶

東京家政学院大学
学友会会長
塚原彩美

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから、大学生として新しい生活が始まります。最初は分からないことや不安なことが、たくさんあるかと思います。そのときは先生や先輩に相談してみましょう。皆さんを温かく迎え、力になってくれることでしょう。これから過ごす4年間のキャンパスライフでは、学科を越えて友達を作ったり、勉学や部活動等に積極的に励み、実りあるものとなるよう心から願っております。

平成25年度学友会役員決定

町田キャンパス

会長	塚原	彩夏	3DC
副会長	卯月	愛美	3DC

千代田三番町キャンパス

副会長	坂本	香子	3HC
会計	林	絵利子	3GB
〃	髙橋	彩夏	2HA
監査	小池	摩凛	2HC
渉外	須藤	さつき	3HC
〃	國井	彩花	2HA
書記	田中	湧巳	3HC
〃	久々宇	晴香	2HC

第 12 回神田雪だるまフェアの「雪だるまコンテスト」で準グランプリを受賞したチームの皆さん

平成 24 年度大江賞受賞者および卒業式代表者

平成 24 年度大江賞受賞者は次のとおりです。

現代家政学科	西橋　綾香	日本文化学科	原田　愛
健康栄養学科	岡崎　史帆	工芸文化学科	千ヶ崎奈津子
児童学科	大橋　奈知	人間福祉学科	武藤　絢美
住居学科	大石　亜希	文化情報学科	丹所　富士
学友会会長	倉田奈緒美		

平成 24 年度卒業式代表者は次のとおりです。

現代家政学科	河井　美結	日本文化学科	肖　雪
健康栄養学科	竹田　涼花	工芸文化学科	藤野　美羽
児童学科	加藤　静	人間福祉学科	小河原美里
住居学科	金子　華波	文化情報学科	畑　鶴南
答辞	船山　綾佳		
送辞	塚原　彩夏		

繋がり広げる「現代生活学セミナー」

「現代生活学とは何か」をテーマに始まった「現代生活学セミナー」は、3年目の平成24年度、地域、他大学の学生たち、支援を求めている人、それに国際的な分野で繋がりの深さと広がりを示すことができました。

現代家政学科は東日本大震災後の復興のため学生に何ができるかを討論し、健康栄養学科は被災地における取組をタイの健康福祉政策と比較し、生活デザイン学科は学生の作品を日本最大級のデザイン・イベントに出品して他大学の学生と交流しました。児童学科は日頃の成果を地域の子どもたちに還元しようと「こども体験塾」を開いたところ高校生の参加も得られ、人間福祉学科は、この4月から児童養護施設等からの入学者への学費等減免制度が導入されるのを機に、施設職員や修学支援をしているNPO代表者を招いてシンポジウムを行いました。

いずれも学生の積極的な取組が見られ、今後の展開が期待できそうです。

11 月 17 日に千代田三番町キャンパスのローズホールで実施された健康栄養学科セミナーでは、コンケン大学のカニタ看護学部長が「地域と作るタイの健康福祉政策」について講演されました。

外国語スピーチコンテスト

平成24年12月22日（土）午前10時より、町田キャンパスにおいて第6回外国語スピーチコンテストが開催されました。今年度から新たに「保護者会会長賞・副会長賞」が設けられました。国際交流センター地域サポーターの皆様も多数ご出席下さり、高レベルのコンテストとなりました。

審査の結果、外国語暗唱部門優勝は生活デザイン学科3年村上絵美さん、準優勝は生活デザイン学科3年談艶さん、敢闘賞は日本文化学科4年肖雪さん、健康栄養学科3年藤木由美さん、同学科3年秋葉球江さん、生活デザイン学科2年高倉由麻さんに決定しました。日本語弁論部門優勝は現代生活学科3年儲金爽さん、準優勝は生活デザイン学科3年王潔洋さん、敢闘賞は現代生活学科3年魏米淇さん、現代生活学科3年徐春益さん、現代生活学科3年関旬珠さん、人間福祉学科3年劉鵬瑶さんに決定しました。

保護者会会長賞には儲金爽さんが、保護者会副会長賞には村上絵美さんと魏米淇さんが選ばれました。

スピーチコンテスト終了後は、ローズコートでクリスマスパーティーが開かれました。

生活デザイン学科主催第2回 KVAコレクション in アリオ橋本

クリスマス★女 3 世代

昨年12月1日（土）アリオ橋本店にて、第2回目となる生活デザイン学科主催のファッションショーが開催されました。学生がアリオ橋本店内のアパレルショップから商品を選び、「ティーン&キッズ世代」「自分たち世代」「New Family 世代」「親世代」の（昨年度よりも1世代多い）4世代のスタイルをコーディネートし、学生、学生のご家族、教職員、地域の方々がモデルとして参加するという今までにはない企画・演出のショーです。開催日当日は多くのお客様を得て、盛況のうちに終えることができました。今後もこのような学生主体型の地域連携活動を継続していきたいと思います。

「特別公開講座」について

平成24年度の特別公開講座は、12月6日（木）に千代田三番町キャンパスのローズホールにおいて、落語家の桂小文治師匠を講師にお招きし実施されました。また、12月20日（木）に町田キャンパスの大江スミ記念ホールにおいて、東京家政学院短期大学の卒業生で園芸家のケイ山田氏を同じく講師としてお招きし実施されました。

千代田三番町キャンパス・ローズホールの舞台に設置した演台にて、落語について講演される桂小文治師匠

平成 26 年度　東京家政学院大学　入試日程

■入試日程

入試種別	日程	出願期間 ※1	試験日	合格発表日	入学手続締切日
AO入試	1期	9月2日（月）～9月11日（水）	別に定められた出願前の面談日	9月18日（水）	9月27日（金）
	2期	9月18日（水）～9月26日（木）		10月2日（水）	10月11日（金）
	3期	10月9日（水）～10月18日（金）		10月23日（水）	11月1日（金）
	4期	10月30日（水）～11月7日（木）		11月13日（水）	11月22日（金）
	5期	12月3日（火）～12月10日（火）		12月13日（金）	12月20日（金）
推薦入試	A日程	10月17日（木）～10月25日（金）窓口受付：10月28日（月）※2	11月3日（日）	11月6日（水）	11月14日（木）
	B日程	11月18日（月）～11月29日（金）窓口受付：12月2日（月）※2	12月8日（日）	12月10日（火）	12月18日（水）
一般入試	S日程	1月6日（月）～1月16日（木）	1月25日（土）	1月29日（水）	2月5日（水）
	A日程	1月6日（月）～1月17日（金）窓口受付：1月20日（月）※2	2月1日（土）2月3日（月）	2月4日（火）	2月12日（水）
	B日程	1月22日（水）～2月5日（水）窓口受付：2月6日（木）※2	2月13日（木）	2月14日（金）	2月21日（金）
	C日程	2月20日（木）～2月28日（金）窓口受付：3月3日（月）※2	3月12日（水）	3月13日（木）	3月20日（木）
センター試験利用入試	A日程	1月20日（月）～1月31日（金）	大学入試センター試験 1月18日（土） 1月19日（日）	2月7日（金）	2月14日（金）
	B日程	1月29日（水）～2月7日（金）窓口受付：2月10日（月）※2		2月14日（金）	2月21日（金）
	C日程	3月6日（木）～3月17日（月）窓口受付：3月18日（火）※2		3月20日（木）	3月27日（木）
特別選抜試験（社会人・海外帰国子女）	A日程	8月23日（金）～8月30日（金）	9月13日（金）	9月18日（水）	9月27日（金）
	B日程	12月9日（月）～12月16日（月）	1月11日（土）	1月15日（水）	1月22日（水）
私費外国人留学生試験	A日程	7月17日（水）～7月31日（水）窓口受付：上記期間中※3	9月13日（金）	9月18日（水）	9月27日（金）
	B日程	11月13日（水）～11月27日（水）窓口受付：上記期間中※3	1月11日（土）	1月15日（水）	1月22日（水）
編入学試験 学士入学試験	A日程	8月23日（金）～8月30日（金）	9月13日（金）	9月18日（水）	9月27日（金）
	B日程	12月9日（月）～12月16日（月）	1月11日（土）	1月15日（水）	1月22日（水）

※1　出願期間は、郵送での締切日（消印有効）を表す。
※2　推薦入試、一般入試（S日程を除く）、センター試験利用入試（A日程を除く）の窓口受付は、町田キャンパス入試広報グループ窓口に限る。
※3　私費外国人留学生試験の窓口受付は、郵送出願期間中（土・日曜、祝日を除く）の町田キャンパス入試広報グループ窓口に限る。

■AO入試面談日・キャンパス

	面談実施日	現代家政	健康栄養	生活デザイン	児童	人間福祉
第1期	8月22日（木）	千代田三番町	千代田三番町	町田	町田	町田
第2期	9月14日（土）	〃		〃	〃	〃
第3期	10月5日（土）	〃	千代田三番町	〃	〃	〃
第4期	10月26日（土）	〃				
第5期	11月30日（土）			町田	町田	町田

■オープンキャンパス日程予定

	千代田三番町キャンパス	町田キャンパス
3月	24日（日）	24日（日）
6月	16日（日）	23日（日）
7月	21日（日）	14日（日）、28日（日）
8月	3日（土）、4日（日）、18日（日）	4日（日）、25日（日）
10月	6日（日）	6日（日）
11月		9日（土）、10日（日）KVA祭同時開催
12月	7日（土）	15日（日）

（お問い合わせ先）
東京家政学院大学・大学院
〒194-0292　東京都町田市相原町２６００番地
町田キャンパス入試広報グループ
TEL　０４２－７８２－９４１１
URL　http://www.kasei-gakuin.ac.jp/
E-mail　nyushi@kasei-gakuin.ac.jp

平成 26 年度　筑波学院大学　入試日程

■推薦入試

区分	出願期間（消印有効）	試験日	合格発表
A日程	10月28日（月）～11月8日（金）	11月17日（日）	11月21日（木）
B日程	12月2日（月）～12月11日（水）	12月15日（日）	12月17日（火）

■一般入試

区分	出願期間（消印有効）	試験日	合格発表
A日程	1月6日（月）～1月24日（金）	2月2日（日）	2月6日（木）
B日程	2月3日（月）～2月21日（金）	3月2日（日）	3月6日（木）

■大学入試センター試験利用入試
［大学入試センター試験日：1月18日（土）・19日（日）］

区分	出願期間（消印有効）	試験日	合格発表
A日程	1月27日（月）～2月7日（金）	本学独自の学力審査はありません	2月20日（木）
B日程	2月24日（月）～3月7日（金）		3月19日（水）

■ AO 入試【セミナー型】

区分	セミナー開催日	出願資格認定通知日	出願期間（消印有効）	本面談日	合格発表
1期	7月21日(日)	7月25日(木)	8月5日（月）～8月16日（金）	本面談はありません	8月29日(木)
2期	8月25日（日）	8月29日（木）	9月2日（月）～9月13日（金）		9月24日(火)
3期	9月8日（日）	9月12日（木）	9月17日（火）～9月27日（金）		10月10日(木)
4期	10月6日（日）	10月10日(木)	10月15日（火）～10月25日（金）		11月5日(火)

■ AO 入試【予備面談型 / 作品型】

区分	出願期間（消印有効）	本面談日	合格発表
1期	8月12日（月）～8月23日（金）	9月1日（日）	9月9日（月）
2期	9月17日（火）～9月27日（金）	10月6日（日）	10月10日（木）
3期	10月15日（火）～10月25日（金）	11月3日（日）	11月7日（木）
4期	1月6日（月）～1月31日（金）	2月9日（日）	2月14日（金）
5期	2月24日（月）～3月7日（金）	3月16日（日）	3月19日（水）

■私費外国人留学生入試

区分	出願期間（消印有効）	試験日	合格発表
A日程	9月2日（月）～9月18日（水）	10月6日（日）	10月10日（木）
B日程	1月6日（月）～1月16日（木）	2月9日（日）	2月14日（金）
C日程	2月17日（月）～2月28日（金）	3月16日（日）	3月19日（水）

■社会人入試

出願期間（消印有効）	試験日	合格発表
1月6日（月）～1月24日（金）	2月9日（日）	2月14日（金）

■オープンキャンパス開催日時

4月28日（日）	10:30～	
5月26日（日）	10:30～	
6月23日（日）	10:30～	
7月21日（日）	10:30～	AOセミナー同時開催
8月11日（日）	10:30～	
8月25日（日）	10:30～	AOセミナー同時開催
9月29日（日）	10:30～	
10月26日（土）27日（日）	10:30～	KVA 祭同時開催
2月23日（日）	10:30～	
3月16日（日）	10:30～	

■入試相談会

12月1日（日）	10:30～	12月8日（日）	10:30～

■授業公開期間

7月22日（月）～7月24日（水）【3日間】

（お問い合わせ先）
筑波学院大学
〒305-0031　茨城県つくば市吾妻３－１　入試広報グループ
TEL　０２９－８５８－４８１５
URL　http://www.tsukuba-g.ac.jp　E-mail　nyushi@tsukuba-g.ac.jp

第12回神田雪だるまフェアで本学チームが入賞

平成25年1月19日（土）～20日（日）に開催された第12回神田小川町雪だるまフェアの「雪だるまコンテスト」に東京家政学院大学から現代家政学科の3チームが参加し、参加24チームの中で準グランプリと一般投票賞（見学者の投票での優勝）を受賞しました。

神田雪だるまフェアは、千代田区神田小川町の5商店街が主催し、千代田区、千代田区観光協会、千代田区商店街連合会などが後援し、群馬県嬬恋村と提携して嬬恋村から約70トンの雪を運び込んで実施されている行事で、東京家政学院大学も後援しています。

雪だるまは縦1ｍ、横1ｍ、高さ2ｍの雪の塊を削って作成するもので、毎年芸術的な作品やユニークな作品が作成されています。準グランプリに輝いた「タワー彫ルガールズ」チームは昨年に引き続いての受賞。一般投票賞の「モモチーズ」チームの「リラックマ」は特に子供たちに大人気でした。

また、人間福祉学科の学生有志もメイン会場の「ちびっ子広場」のスタッフとして協力し、フェアの運営に大きく貢献しました。

「東京家政学院大学 地域交流会２０１２」を開催

本学の地域連携活動の情報発信の機会として平成19年より西武信用金庫との共催により年1回開催している「東京家政学院大学 地域交流会２０１２」を、今年度も11月29日（木）に町田キャンパスで開催しました。

同交流会では、今年度に実施した6件の地域連携プロジェクトについて学生から報告し、また、発表の合間にはローズコートにおいて連携事例のポスター展示と合わせて参加者と教職員、学生との情報交換会を行いました。当日は、学内外合わせて１００名以上が来場し、活発な意見交換が行われました。アンケートでは「学生さんたちの目線と大学の取組み姿勢が理解できた」などのコメントがあり、学生を主体とした本学の連携の特長が伝わる交流会となりました。

ローズコートにおける展示発表

特別養護老人ホーム椿との連携・協力

町田キャンパスの前に１７０のベッドを持つ特別養護老人ホーム椿とデイサービスセンターが、3月1日（金）にオープンしました。この1年、町田市相原地区にある大学と特養との連携の在り方を話し合ってきました。その結果、(1)教育連携（2)経済支援連携（3)研究研修連携などの点で連携を図っていくことになりました。具体的には（1）の教育連携では、コミュニケーション演習やレクレーション体験授業の一部を現場で行う事です。（2）の経済的支援連携では、教員が関与しながら学生がアルバイトをし、少しでも経済的な負担を軽減するという連携です。これは大学にとっては、座学で得た知識を実践の場で活用できる効果が期待できます。（3）の研究研修連携では、大学と現場が共同して研修や研究（例えばアロマセラピーやプレイセラピーの可能性）を展開しようと考えています。これらを踏まえて、今、包括的連携協定を結ぶ準備を進めています。

家政学部・人文学部を閉じるにあたって

東京家政学院大学、家政学部は昭和38年から約半世紀、人文学部は昭和63年から約四半世紀の歩みを続けてきました。両学部は平成22年度から現代生活学部に再編され、今春、家政学部・人文学部の4年生が卒業しました。学生たちの教育に心血を注いでいただきました皆さまに心よりお礼を申し上げます。

「学院だより」寄稿にあたり、29年前町田キャンパスに家政学部が移り、人文学部が設置された当時のことを伺いました。3号棟もなく図書館も2号棟の一角にあった新校舎建設当時。授業中に教室の窓ガラスに小鳥たちがぶつかり、相原十字路のバス停までは栗林の道。目に浮かぶ光景は、今以上に自然豊かなキャンパスで不便さを跳ね返すフロンティアスピリッツに満ち溢れた学生たちが行き交う姿です。後輩は先輩が身をもって示したＫＶＡ精神を引き継ぎ互いに支えあい、人間性豊かな多くの卒業生を送り出してきたことが誇りです。

いま、この2学部8学科は、現代生活学部5学科として生まれ変わり、さらなる発展をめざしています。東京家政学院大学の今後にご期待いただき、変わらぬご支援のほどお願い申し上げます。

家政学部長　上村　協子
人文学部長　中町芙佐子

日本文化学科合同同窓会開催

３月３日（日）に京王プラザホテル「錦」において、200 名に及ぶ卒業生や日本文化学科にゆかりのある先生方が集まり、盛大にかつなごやかに日本文化学科合同同窓会が執り行われました。

同窓生からは、在学中のエピソードや卒業後の生活が報告され、社会のさまざまな分野で活躍されている様子がわかりました。

また、最後に母校のさらなる発展を願って散会しました。

和やかに談笑する同窓生たち

筑波学院大学
TSUKUBA GAKUIN UNIVERSITY

〒305-0031　茨城県つくば市吾妻 3-1
TEL：029-858-4811（代表）
FAX：029-858-7388
URL　http://www.tsukuba-g.ac.jp

新入生を迎えて

筑波学院大学
学長　大島慎子

新入生、および保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。

筑波学院大学は、地域に貢献する大学、Center of Community という文部科学省のCOC構想を実現し、創立者大江スミ先生の知識と技能を磨いて社会に役立てる特性を培うKVA精神を継承しながら、次代を担う若者を育成いたします。

グローバル化がすすむ現代は、日本だけの価値観ではなく、広い視野が必要です。本学では1年生、2年生には「つくば市をキャンパスに」大学から外に出て自治体や企業で社会体験を得るという社会現場に直結する必修授業があります。この経験で自分の長所や欠点、適性を見出し、自分にとってどのような知識が必要か、何を学ぶべきかをしっかり捉えて、専門知識を積み重ねる作業を絶え間なく続けることが、皆さんのキャリア創造につながります。

今から30年ほど前に、アメリカの未来学者アルビン・トフラーは世界的なベストセラーである「第三の波」という本を出版しました。第三の波とは、農耕社会が世界中で確立されていく過程が「第一の波」、それが鉱工業などの産業化社会という「第二の波」で完全に改変され、そして今、脱工業化社会、すなわち情報化社会という「第三の波」によって一新されようとしているという文脈で使われています。産業社会は大量生産、大量消費であり、それを実現するためには、地球上に無尽蔵な資源と廃棄物を収容できる地球環境が必要でした。これは無理であるから、第三の波がくるというのが、トフラーの予測でした。この予測が的中し、現代は情報化社会であり、地球環境を守り持続可能な世界をつくることが我々、および未来に向かう皆さんに課せられた使命です。

本学では、現代社会のニーズに応える情報スキルと発想力を磨き、ビジネスマネージメント能力と、ホスピタリティ精神を学びます。

筑波学院大学エンブレムデザイン決定

筑波学院大学では、エンブレムを制作しました。デザインを学生から募集し、最優秀作品として選ばれた経営情報学部3年生の元木将人さんの作品を元にしました。エンブレムの由来は、筑波学院大学の頭文字の「T」をしなやかで躍動的にデザインし、色は国際性を表す地球のアースブルーでもあり、青春の青でもある濃い青色を基調としています。本学院の建学の理念である Knowledge「知識」、Virtue「徳」、Art「技術」を基盤に、国際化する社会に対応すべく、本学で教育を受ける学生が、未来に向けて飛躍する可能性を表しています。

エンブレム（白地バージョン）

平成25年度学友会会長挨拶

筑波学院大学
学友会会長
野濱哲也

平成25年度、筑波学院大学学友会会長に就任しました野濱哲也です。私は1年生から学友会役員として、学友会の活動やイベントの企画運営に携わってきました。これまでの活動を振り返ると、どれも鮮明に思い出せるほど強く印象に残っています。どのイベントも少なからず障害があり、大変な思いをすることもありましたが、仲間と協力し合いながらイベントを成功させた喜びは忘れることができません。

その中でも特に印象に残っているのがKVA祭での活動です。例年、学友会では「仮装大会」と「お化け屋敷」を主催しています。私は、一昨年と昨年ともに「お化け屋敷」の運営に関わりましたが、この企画はKVA祭の中でもメインイベントの1つと言っても過言ではありません。それだけの規模の企画を一から運営していくには様々な苦労がありましたが、学外から足を運んでくださったお客様が楽しんでくれる姿を見て、やって良かったと心から感じました。

一方で、それで良いのだろうかと思うことがあります。会長に就任するにあたり、学友会という組織について考える機会が増えました。学友会は会員相互の親睦を深めるとともに、人間形成に努め、筑波学院大学の発展向上に寄与することを目的として活動する組織です。私たち役員の達成感や学外からのお客様が楽しんでくださることも学友会活動のひとつとして重要ではあります。

しかし、学生のための活動と考えた時に、KVA祭が私たちのメインイベントであってはいけないのではないだろうか、と。もちろん、私たちはKVA祭以外に学生向けの活動も行なっていますが、今年度は特にそういった活動を重視すべきであると考えています。

私たちは、学生による、学生のための組織です。今年度は、学生と学友会が積極的に意見や情報交換をできるような仕組みづくりを行い、より良い活動が行えるよう最善を尽くして参ります。

平成24年度大江賞受賞者および卒業式代表者

平成24年度大江賞受賞者は次のとおりです。

情報メディア学科　佐久間　星良
国際交流学科　斉藤　和宏

平成24年度卒業式代表者は次のとおりです。

情報メディア学科総代　佐川　貴紀
国際交流学科総代　秋山　高宏
答辞　情報メディア学科　菅野　智世
送辞　経営情報学科　元木　将人

卒業研究発表会

筑波学院大学の卒業研究発表会が、2月13日（水）に行われました。午前に国際交流学科は2会場で、午後は情報メディア学科が4会場に分かれ発表を行いました。国際交流学科では「英語教育の比較～日本・韓国・中国・台湾」、「日本の空港問題」などのテーマで発表が行われました。

情報メディア学科のデザイン系では「菓子パッケージのデザインと研究」の発表や数人のグループで25分のアニメーションを制作し、それぞれの担当に関する発表やつくば市からの要請に基づいて取り組まれたつくば市における竜巻被害状況及び復興活動をまとめたビデオ作品の制作に関する発表もありました。この作品は「つくば竜巻被害復興支援プロジェクト」のホームページ（URL：http://www.tsukuba-webtv.jp/video/　コンテンツは YouTube にあります。）でみることができます。

経営・経済系では「観光業とネットビジネスの今後の動向」、システム開発系では「OpenGL を使った Android ソフト開発」、「3点照明によるCG映像の質感評価実験」などソフト開発から画像処理研究まで幅広い分野での発表が行われました。

卒業研究発表会の様子

地域の中学校で学生が活動（中学校で国際交流活動に参加／震災支援講演会で講演）

12月12日（水）、龍ヶ崎市の城ノ内中学校で行われた国際交流学習に留学生11名が招かれました。3年生の全クラスで、生徒達から母国について多様な質問を受けました。

また、10月31日（水）、桜中学校で開催されたつくば市防災教育プログラムに、斉藤和宏さん（4年）、黒田大貴さん（3年）、武田直樹社会力コーディネーターが参加しました。「被災地の状況」「震災支援活動」をテーマに講演し、活動することの意義を伝えてきました。

中学生の質問に答える本学留学生

平成 25 年度学友会役員決定

会　長	野濱　哲也			
副会長	井高　悠斗	和田　拓弥		
会　計	香取　茜	鈴木　千賀		
	田村　友洋	小島　健史		
書　記	鈴木　啓介	松本　俊太郎	中川　唯	
広　報	小林　哲	藤沼　荘介	最上　大河	
渉　外	箕輪　有希	本田　裕太		
	ブルガリビッチ　アントン	川村　匠		
会計監査	渡辺　悠太			

平成 25 年度クラブ連合会
委員長　正野　完治　　副委員長　関本　和宏
第 23 回 KVA 祭実行委員会
委員長　大江　道貴子　　副委員長　太田　あかり

学食改善プロジェクト

1人の学生から学長室に「学食改善の要望」と題してプレゼンの申し出があり、これをきっかけに、学友会、女子会、学生有志と学生委員会とで学食改善プロジェクトを立ち上げました。会合を重ね、アンケート調査やこれを踏まえた学食のメニューや雰囲気作りなどへの提案をしています。「カレーフェア」、「パスタフェア」やクリスマスの特別メニューが企画されるなど、学食が少しずつ活気づいてきました。また、女子会のメンバーが献立を作り、食堂の方に依頼して、実現した「女子会弁当」も好評でした。今後は地産地消の献立など地域との連携もしていく予定です。

考案された女子会弁当

OCP学生報告会とアドバイザー会議を開催

1月22日（火）本学にて、1年間の締めくくりとして、学年報告会とアドバイザー会議（第16回）を同時開催しました。

1年生は11組が活動の特徴、身に付けた力について、2年生は8組が30時間以上の活動で得た体験を報告しました。3年生は、自分たちの60時間を超えるプロジェクトを6組が熱く語る姿が印象的でした。映画オープンセット活用イベント、スポーツNPOでのイベント実践、児童養護施設でのジャグリング教室、つくば市と気仙沼市での東日本大震災復興支援活動など、多様な活動に取り組んだ様子が報告されました。

実践科目学年報告会（3年生）の様子

インドネシアの高校生が本学で研修を実施

本学国際別科は、インドネシアジョグジャカルタ市の日本語教育機関Japanese Course（JC）と連携協定を結んでいます。12月17日（月）、JCが企画する日本文化研修プログラムで、インドネシアの高校生と大学生計9名が来学しました。24日（月）まで本学で日本語や日本文化の授業を受けたり、市内の高校訪問、研究所見学、1泊2日でのホームステイなど様々な体験をしました。中でも、本学での本格的な着物と茶道の体験は大変好評でした。

短期間の研修ではありましたが、放課後を使った本学の学生との交流も盛り上がり、互いの友情や、インドネシアの高校生の日本への理解が深まる研修となりました。

インドネシアの高校生と本学の学生

外部のアドバイザーからも、熱心な質問や、3年間活動してきた学生たちへの励ましとお褒めのお言葉をたくさんいただきました。

中華大学との交流提携事業とオーストラリア英語研修

筑波学院大学では、学生に国際感覚を身につけてほしいと考え、いろいろな活動を実施しています。12月には7人の学生が台湾の中華大学へ1週間研修に参加しました。

中華大学とは交流提携を行っており、7月に12人の中華大学の学生を迎え、日本語の研修と日本の文化を体験してもらい、今回は、本学学生が台湾を訪問し、来日できなかった中華大の学生さんに向けて日本を紹介し、交流を深めました。

また、2月15日（金）から3週間の予定で、5人の学生がオーストラリアのパース市にある州立エディス・コーワン大学付属語学学校で英語研修を行いました。英語の勉強はもちろん気候、文化の違いを体験し刺激をいっぱい受けて一段と成長してきました。

中華大学との交流の様子

2年生の野濱哲也さんパーソナルコンピュータ利用技術学会全国大会で新人奨励賞を受賞

経営情報学科2年生の野濱哲也さんは、11月25日（日）に立正大学（大崎キャンパス）で行われた第7回パーソナルコンピュータ利用技術学会で「統計的思考育成のためのデジタルテキストで利用可能なツールの開発」という研究テーマで発表し、学会から新人奨励賞をいただきました。野濱さんは2年生ですが、システム開発に興味があり、垣花教授の科研費の研究のためにｗｅｂから使うことのできる統計教育用のプログラムツールを次々と開発しています。

発表の様子

学校法人 東京家政学院

Knowledge
Virtue
Art

知識を高める
徳性を養う
技術を磨く

学校法人東京家政学院
〒102-8341
東京都千代田区三番町22 番地
（代表電話番号）03-3262-2251
URL http://www.kasei-gakuin.ac.jp/houjin/

光塩会から新入生へのメッセージ

光塩会会長
宗像　伸子

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。光塩会は東京家政学院に学ばれた方々の同窓会です。光塩会は創立者の大江スミ先生が聖書の中にある「あなた方は世の光である、あなた方は地の塩である」という聖句から名付けられました。同窓会が社会や家庭において「世の光　地の塩」としてよい働きをするように祈りをもって生活の指針を示されました。

これから始まります4年間の学生生活にいろいろなプランをお持ちのことと思います。「こんなことを学ぼう」「こんな楽しみをしよう」など、たくさんのイメージを描いていることでしょう。頭の中で描くだけではなく、ノートを1冊用意して、「アイディアノート」と表紙に書いて、思いついたアイディアやイメージなどをノートにとることによって、頭の中にある一瞬のひらめきをとどめることができます。書き出すことによってイメージができてモチベーションの一つになります。このノートに書きだされる項目の一つに、「食事は1日3回、規則正しくとること」を入れていただきたいと思います。管理栄養士として長年仕事をしてきました先輩として、この4年間、健康の源は普段の食生活にあることを念頭においてください。実りある学生生活をお送りください。

あづま会から新入生へのメッセージ

あづま会会長
澤田　三和子

ご入学おめでとうございます。ようこそ東京家政学院へ。

あづま会は、東京家政学院高校の同窓会です。

東京家政学院は、今年、創立90周年を迎え、皆さんと一緒にお祝いできることはとても嬉しく思います。学院の中庭にあります枝垂れ桜は、80周年のときにあづま会で植樹したもので、毎年新入生を歓迎し、きれいに咲いてくれます。

皆さんにお目にかかるのは、常磐祭（体育祭、文化祭）です。体育祭では元気な皆さんの競技姿を応援しています。文化祭では直接お目にかかり、交流を持つことが出来ます。あづま会のお部屋もあり、あづま会の歴史の展示、小物の講習会、卒業生の手作り品の販売、そしてお茶の用意もあり、大先輩とお話をするチャンスもあります。

あづま会は皆さんが明るく健やかな学院生活を送れるように、応援しています。

主な活動の紹介

＊　総会、懇親会の開催
＊「あづまだより」の発行、ホームページの配信
＊　奨学金給付
＊　校章ストラップの販売
＊　常磐祭の参加

「東京家政学院創立 90 周年記念募金」報告と募集期間延長について

皆様のご協力により、平成 22 年 6 月から開始しました「記念募金」の額が、本年 3 月までの間に約 6 千万円となりました。
ご協力いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。
引き続き、「記念募金」にご支援、ご協力をお願いいたします。

＜記念募金の状況：平成 25 年 3 月 9 日現在＞

●個人：	1,566 件	50,494 千円
光塩会・あづま会	989 件	16,438 千円
役員	33 件	8,644 千円
教職員	202 件	19,335 千円
在学生保護者等	342 件	6,077 千円
●団体：	20 件	6,575 千円
（内 5,000 千円は光塩会からいただきました）		
●企業：	13 件	5,810 千円

＜お知らせ＞
① 募集期間を平成 27 年 5 月 31 日まで延長いたしました。
② 平成 23 年度の税制改正で「税額控除制度」が導入されました。この制度は、寄付金が所得税から直接控除されるため、減税効果が大きくなりました。
③ 学校法人に遺贈した財産は、相続税の非課税財産になります。ご相談は、募金事務局でお受けし、ご希望があれば信託銀行をご紹介させていただきます。
④ 団体の寄付金として「○○卒クラス会有志一同」からなどのご寄付もお受けしております。

＜お問合せ＞　学校法人　東京家政学院　募金事務局
ＴＥＬ　０３－３２６２－２２４２
Ｅ -mail: bokin@kasei-gakuin.ac.jp

東京家政学院中学校・高等学校

TOKYO KASEIGAKUIN JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

〒102-8341
東京都千代田区三番町 22 番地
TEL.03-3262-2255（中学）
TEL.03-3262-2256（高校）
URL http://www.kasei-gakuin.ac.jp/chuko/
E-mail:koho@chuko.kasei-gakuin.ac.jp

高校送別会の様子

入学生の皆さんへ

校長　長尾　宏

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから中学生は6年間、高校生は3年間、この家政学院で過ごすことになります。合格通知を受け取ったその日から、みなさんはこれから始まる学校生活に多くの期待をされたことと思います。新しい友達との出会いはきっと皆さんを更なる成長へと導いてくれることでしょう。しかし、その過程は決して楽しい事ばかりではないはずです。時には悪気のない不用意な発言で、誰かを傷つけてしまい友人関係が壊れてしまうような場面があるかもしれません。皆さんは自分がそんなピンチに陥った時、どう解決するのでしょうか。

家政学院の教育は、皆さんが希望する大学に進学することのできる学力を身につけることはもちろんですが、社会人として必要なコミュニケーション能力を育てていくことにも重点を置いています。良好な友人関係を築くためには、まず「自分を知ること」つまり、自己を客観視できる能力を身につけることが大切です。本校の「エンカウンター教育」で身につけたコミュニケーション能力は、将来、皆さんに訪れたピンチをチャンスに変えてくれる強力な武器になることでしょう。

次に肝心の学力向上についてお話しします。まず、基礎学力をしっかりと身につけること、そして、論理的思考に裏付けされた応用力のある「真の学力」を身につけさせます。そのために本校独自の学習プログラムに沿って、コース別の授業、習熟度別授業、補習、講習と徹底した少人数での指導を展開しています。それと同時に、皆さんの適性を見極め、皆さんひとり一人の夢を実現させるためのキャリア教育を徹底しておこなっています。

生きる力（学力・人間力）を身につけ、その成長が生み出す自尊の心（自分を好きでいられる、大切に思える、誇りに思える心）を育て、社会に貢献できる自立した女性の育成を目指す本校の教育力に期待して下さい。

平成25年度生徒会役員決定

2月22日（金）に中学役員選挙が行われ、生徒会長は3年の高柳奈々子さん、副会長は2年の水戸部祥子さんに決定しました。

中学生徒会長
高柳奈々子さん

中学副生徒会長
水戸部祥子さん

※高校の生徒会役員は4月に決定します。

中学生徒会長挨拶

ごきげんよう。この度、中学生徒会長になりました高柳奈々子です。

私は、昨年の生徒会で副議長を担当していました。中3の先輩方が生徒会の仕事を協力し合いながらこなしていく姿を見て、私も会長としての自覚を持ち、執行部のみんなをまとめていけるような会長になりたいと思っています。そして、家政学院を盛り上げられるようにがんばります。一生に一度しかない中学生活ですので、全校生徒が楽しく、充実した毎日を過ごせるようにし、家政学院をもっと活気がある学校にするように努力します。

また、伝統の「ごきげんよう」という挨拶を気軽にできるような環境も作っていきたいと思っています。

先輩方から学んだ事を活かし、家政学院の伝統を守りつつ新しい学校作りに励みますので、よろしくお願い致します。

平成24年度　高校卒業式

卒業証書授与

3月4日（月）本校ローズホールにおいて、高等学校の卒業式が、厳粛のうちに行われました。山口理事長、藤山ＰＴＡ会長をはじめ、多数の来賓や保護者の方々を迎え、卒業生の門出を祝福しました。皆勤賞37名の代表として山口桃子さんが、また大江賞は生徒会長として活躍したヤジッド・ラハマリア・アウファさんが受賞しました。送辞は在校生を代表して河野沙耶さんが読み、答辞は卒業生を代表して高橋里奈さんが読み上げました。

中学如月祭

2月22日（金）に中学如月祭がローズホールで行われました。今年は新しい試みとして「チャレンジカップ」を取り入れました。「チャレンジカップ」とは一般社団法人日本チャレンジ教育協会が主催する、小～高校生を対象とした「自分で決めた目標に挑戦する」大会です。チャレンジ報告には「体力向上のために毎日腹筋する」「社交ダンスが踊れるようにする」など様々で、個々の取り組みは素晴らしい内容でした。その他にも、クラブや有志団体が日頃の練習の成果を存分に発揮し、充実した行事となりました。

高校送別会

2月23日（土）に高校送別会が行われました。参加団体は高校生らしいパワフルなパフォーマンスを披露してくれました。また、参加団体の中には、サプライズとして先輩への感謝の気持ちを綴った手紙を朗読し、涙する3年生の姿も見受けられました。クラブや有志団体の気持ちを込めた発表は、卒業を迎える3年生にとって、在校生とともに過ごす最後の行事として、忘れられない思い出となったに違いありません。

入試広報だより

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さん方が入学試験を乗り越えることができたのは、本学院で学びたいという強い思いがあったからだと思います。受験生のサポーターとして、本当に心からお祝いいたします。

さて、東京家政学院中学高等学校の本年度のキャッチフレーズが以下のように決まりました。

「こころに、一輪のバラを。」

誰もが心の中に持っている大きな夢や希望を、本校の校花である「ばら」に喩えました。とびきり大きな希望を持って欲しい、そして、東京家政学院で「夢中」になれる何かを見つけて欲しい、という願いも込めました。

1年間、受験生のサポーターとして東京家政学院を伝えていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

サブバックの導入

本年度よりサブバッグ（トートバッグ・ポケッタブルバッグの2種）を導入しました。学用品や体操服、お弁当などを持ち運ぶことができるオリジナルバッグです。紺色を基調として、ブラウスの襟元にあるＴＫのマークを採用しました。トートバッグは女性らしいピンク色のステッチをあしらい、また、ポケッタブルバッグは小さく折りたたんで持ち歩くことができるデザインになっています。

ポケッタブルバッグ

トートバッグ

2013 年度　東京家政学院中学校・高等学校校内説明会日程

※９月までの日程を載せてます

	キャンパスツアー		説明会		
中学校	4 月 27 日（土）	11:00	6 月 11 日（火）	10:00	保護者説明会
	5 月 25 日（土）	11:00	6 月 23 日（日）	10:00	クラブ体験
			7 月 15 日（祝）	10:00	授業体験
			9 月 7 日（土）	14:00	学校説明会
高校	6 月 15 日（土）	11:00	7 月 21 日（日）	10:00	高校・大学合同オープンキャンパス
	6 月 29 日（土）	11:00	8 月 3 日（土）	10:30	学校見学会
			8 月 24 日（土）	10:00	オープンスクール

1）《キャンパスツアー》は授業見学・施設見学・ミニ説明会を行います。
2）《保護者説明会》では校長が本校の教育方針を語ります。
3）《クラブ体験》は『在校生と一緒に、楽しいクラブ体験』をしていただきます。
4）《授業体験》は『入試科目の授業』を体験します。
5）《学校説明会》《学校見学会》は卒業生や在校生による学校紹介を行います。
6）《高校・大学合同オープンキャンパス》は、併設大学と合同の説明会です。併設大学の魅力をお伝えします。
7）《オープンスクール》は“授業”と“クラブ”体験ができます。在校生がご一緒します。

中学・高等学校共通イベント

9 月 10 日（火）	11:00 ～ 14:00	体育祭（常磐祭第一部）
9 月 28 日（土）	10:00 ～ 15:00	文化祭（常磐祭第二部）　入試相談実施します。
9 月 29 日（日）	10:00 ～ 15:00	文化祭（常磐祭第二部）　〃

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

東京家政学院中学校・高等学校　入試事務室
電話　03-3262-2559（入試専用ダイヤル）
FAX　03-3262-2223
URL　http://www.kasei-gakuin.ac.jp/chuko/
E-mail　koho@chuko.kasei-gakuin.ac.jp

社会のなかで

住居学科2期生、25年目の報告

東京家政学院大学　住居学科卒業
鈴鹿　美穂

私は「まじめ」とは言いがたい学生でした。課題の提出も間に合わず、先生に「だめこちゃんね」と言われていました。しかし3年生のとき、杉本先生の授業で知った建築家に惚れ込んでしまい、門を叩いてアルバイトに通うようになりました。

設計事務所の仕事は、徹夜、終電は当たり前、運転手、お茶汲み、秘書の役割までなんでもあり、模型、図面、打合せ資料を作成し、打合せに同席。それらを先輩の仕事を見てまねて覚えていく、まさに修行でした。といっても、研究室の延長のような雰囲気もあり、気になる建築を見に行ったり、一晩中しゃべったりする仲間がいました。

その後ハウスメーカー勤務も経験し、結婚、一級建築士取得、ゼネコン設計部にいた夫と設計事務所を開設したのが、13年前になります。

自分たちで事務所を運営して、つくづく人とのつながりの大切さを感じます。いただく仕事はすべて、どなたかが私たちを思い出して声をかけてくださるもので、舞い込んでくる仕事などひとつもありません。信頼を裏切らないよう、がんばるしかありません。

建築の世界は、圧倒的にいまでも男性社会です。そのなかで男女差を感じずに仕事ができるのは、女性建築家の先輩方の力だと思います。そしてなによりも、私が仕事を続けていられるのは、夫と娘のおかげです。

結婚18年、子育て9年、いまだに実家の母に手伝ってもらっていることを懺悔します。でも建築家です、と名乗れるようになったことは、母校にご報告したいことです。

住宅作品（撮影：鳥村鋼一）

プロフィール

鈴鹿 美穂（スズカ ミホ）
平成元年 東京家政学院大学家政学部住居学科卒業
建築家
川島鈴鹿建築計画 共同主宰
http://www.kawashimasuzuka.com

研究室紹介46

東京家政学院大学 児童学科 音楽教育研究室

（山原麻紀子 研究室）

音楽教育研究室は今年で5年目となりますが、音・音楽に関わる幅広い研究を行っています。卒業後は保育や教育の現場に巣立つ学生が多く、卒論のテーマも「子どもと音楽」を中心にしたものが多く取り上げられています。例えば、「わらべうたに関する一考察」「保育における手遊びうたの研究」「子どもを取り巻く音環境」「子ども向け音楽アウトリーチ研究」など、保育所や幼稚園でのフィールドワークやアンケート、インタビューを通した実践的な研究が挙げられます。また一方で、「BGM研究」や「音楽受容の変化」など、音楽学や音楽社会学、音楽心理学の視点から音楽についてより専門的に掘り下げて行く研究も行われています。

ゼミ生は、3年次までの音楽関連の授業で、子どもの音楽表現や、音楽の基礎技能について学んできています。基礎技能の一つとして、子どもと関わるときに大切になるのが弾き歌いの技術です。毎年最後の授業は一人ひとりが全員の前で演奏をする「弾き歌い発表会」を開催しています。また地域の子どもに向けた「子ども体験塾」での音楽教室や、児童学科の合同授業の一環としてKVA祭で行うミュージカルや劇などに歌や音楽をつけるなど、子どもたちの前で楽器を演奏したり、一緒に歌を歌ったりする機会を通して、音楽の実践力育成にもつなげています。

これから保育・教育現場で活躍する卒業生には、ゼミでの研究をいかし、子どもの身近なところにいつも音楽がある、そんな環境づくりを目指すとともに、何より自分が音楽を楽しむ姿勢を忘れないで欲しいと期待しています。

KVA祭での創作劇

弾き歌い発表会